

(4) ②様式第4号-2 (報告書)

※文字のフォント、大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。

※写真は、進行プログラムに沿って適宜、右ページに簡単な説明文を添えて貼り付けてください。

※必ず A3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

NITS・教職大学院等	実施機関名・連携機関名 茨城県教育研修センター
コラボ研修プログラム	事業名：新しい教育課題に対応するための教育の情報化研修講座
支援事業報告書	研修等名：【NITS・茨城県教育研修センターコラボ研修】 新しい教育課題に対応するための教育の情報化研修講座 ～児童生徒の資質・能力を育むためのデジタル教科書を活用した授業づくりを目指して～
	開催日時：令和5年8月18日 9時30分～16時 開催場所：茨城県教育研修センター（茨城県笠間市平町1410） 参加人数（総数）と参加者の属性：（55人）茨城県内の教職員33人、学識経験者1人、 実践発表者2人、教育研修センター職員8人、公開講義受講者11人

内容：

学校での導入が進みつつある一方、どのように活用すればよいか課題も見られるデジタル教科書をテーマとし、学識経験者の講義や教員による先進的な活用事例の発表、デジタル教科書を活用した授業づくりの演習を通して授業での活用に関する視点や授業づくりの技術の習得を図る。

○講座準備

講座担当者が、学習者用デジタル教科書の活用方法や事例などの研修を受ける。(写真1)

講座担当者が、実践発表者の授業参観及び打合せを行う。(写真2、3)

○講座当日

講義「デジタル教科書を活用した授業づくり」放送大学客員教授 佐藤幸江（写真4、5）

学習者用デジタル教科書について、新しい学びの創造の視点から国の動向を踏まえた説明があった。また、児童生徒主体の学びについて、国語等での活用事例の紹介がされ、受講者はイメージを広げることができた。

実践発表・研究協議「授業におけるデジタル教科書の活用の実際」

* 稲敷市立沼里小学校教諭 青山祐太 小学校算数科「合同な図形」の実践発表

本単元で学習者用デジタル教科書を用いるメリットは、容易な図形操作やメモなどによる思考の可視化ができることにより、児童の学習内容の理解を深めるとともに表現力を高められることであることが挙げられた。

* かすみがうら市立霞ヶ浦中学校教諭 小松崎亮 中学校外国語科の実践発表

学習者用デジタル教科書を用いた個別最適な学びと協働的な学びや、デジタル教科書と様々なアプリを組み合わせた実践について発表され、生徒が課題の解決に向けて主体的に活用する様子が見取れた。

演習・研究協議「デジタル教科書を活用した授業づくり」

演習は算数コースと外国語コースから受講者が選択。模擬授業後、活用について考える。(写真6、7)

受講者が希望した教科で授業づくりを行い、班ごとに各自が考えた授業案について研究協議を行う。

○講座終了後

受講者が、各学校において実践につなげる。

成果：

講義及び実践発表、演習・研究協議と、デジタル教科書を児童生徒が主体となって活用するという点で、一貫性をもった研修を行うことができた。そのことにより、理論と実践の往還が可能な研修内容となった。

受講者の声（リフレクションより）（写真8）

「デジタル教科書を活用した実践事例がよく分かりました。また、個別最適な学びや協働的な学びを実現するために、デジタル教科書を活用した授業をしていこうと思います。」との記述より実践につながる研修となったと考える。

「デジタル教科書の活用法について、先生方と深く考えることができました。特に、社会科の先生と行った研究協議は、大変有意義でした。」との記述より講義で得た知見を、研究協議でより深めることができたと思う。

アイデアや工夫したこと：

○学習者用デジタル教科書のアカウントを受講者分用意し、一人一人が実際に操作しながら演習を行えるようにした。そのことにより、受講者は技能の習得を図ったり、授業づくりの見直しをもったりすることができた。

- 事前の希望アンケートを基に、演習のコースを決定したり、受講者が授業づくりを実施したい教科毎に研究協議の班を編成したりすることで、受講者のニーズに応じた研修になるよう工夫した。
- 担当者が事前に学習者用デジタル教科書の活用方法の研修を受けたり、学識経験者の講義を聴講したりすることで、質の高い講義・演習を実現できるようにした。
- オンラインで公開講義も併せて実施することで、多数の参加者の知見の深化を図れるようにした。

<写真・図など> ※会場の熱気や規模がわかる写真、参加者の表情がわかる写真（寄って撮影またはトリミング）を撮影してください。



写真1：担当者の事前研修



写真2：授業参観（沼里小学校）



写真3：授業参観（霞ヶ浦中学校）

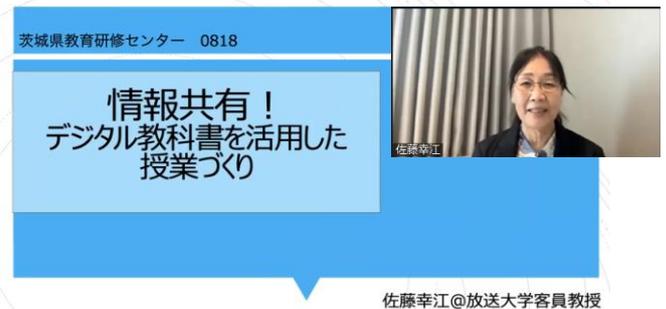


写真4：講義 佐藤幸江様

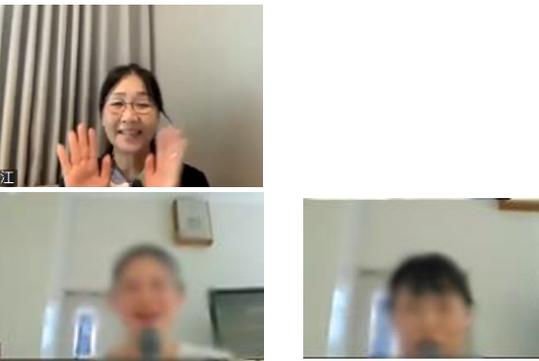


写真5：講義において質疑応答

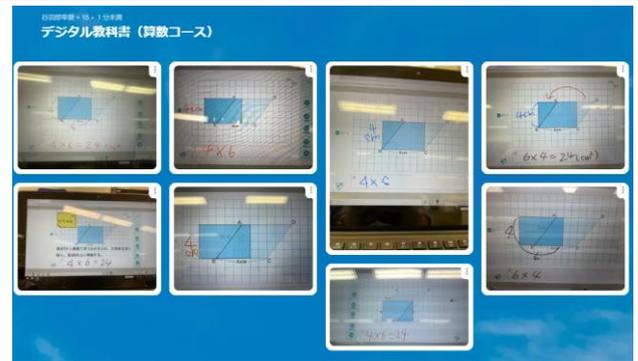
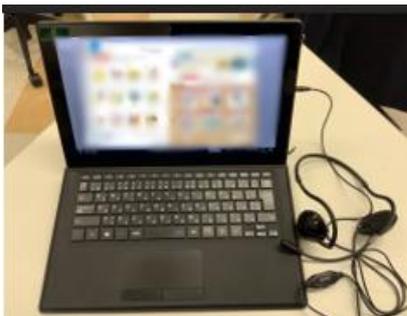


写真6：演習（算数コース）



※ヘッドホンを用いて、主体的な学びを実現した。

写真7：演習（外国語コース）

①演習・研究協議において、デジタル教科書を活用した授業を体験したり、授業づくりについて考えたりすることで、どのようにデジタル教科書を活用するかについてアイデアを得ることができた。

33件の回答

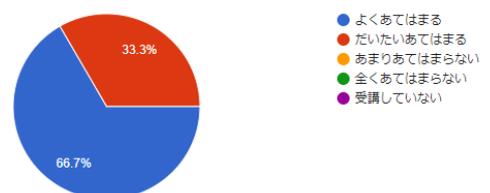


写真8：受講者のリフレクション